

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-109	小学校	体育	保健	第3・4学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
224・学研	保健・305	みんなのほけん3・4年		

## 1 編修の基本方針

### 生きる力、自ら学び、自ら考える力を育てる

一人一人の夢や希望をかなえる土台となるのが健康です。心も体も健康であるためには、一人一人の生活だけでなく、周りの環境や社会も、健康によいものに変えていく必要があります。これからの時代の保健においては、助け合い、支え合って、みんなが健康に生きていける社会を作っていく資質・能力の育成が求められています。



これからの時代に  
求められる保健の  
資質・能力のイメージ

「みんな」が健康であるために、  
自分自身でできること、  
周りの人や社会に働きかけていくこと

保健の学習を通して  
育成すべき資質・能力

健康・安全についての  
基礎的な知識の実践的な理解と、  
それを基にした技能の習得

自らの健康課題を把握し、  
周りの人などと協働しながら  
考え、判断し、改善する能力

教育基本法に示された教育の目標の達成

どう  
実現  
するか

子供たちに求められる資質・能力の育成

## 編集の基本方針

### 1

健康とは  
どんなことか  
を考える教科書

積極的な健康観、  
共生の視点を  
基本に置いて内容を構成する。

### 2

健康とどう  
関係しているか  
を考える教科書

身の回りの事象や情報を、  
健康や安全と結び付けて考える  
学習活動を基本とする。

### 3

健康になるためには、  
どうすればよいか  
を考え、実践に結び付ける教科書

健康についての科学的認識と技能の習得、  
それらの活用による課題の解決に  
向けた学習活動を基本とする。

# 1 「健康とはどんなことか」を考える教科書

積極的な健康観、共生の視点を基本に置いて内容を構成する。



## 教科書最初の見開きで健康について考えることができる

導入で、健康とはどういうことかについて問いかけ、積極的な健康観、共生の健康観に気付くことができますようにしています。

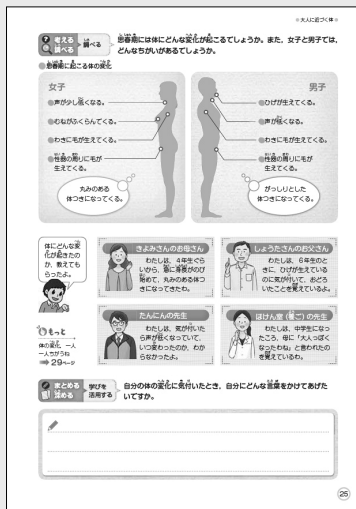


▲表紙裏～ p.1

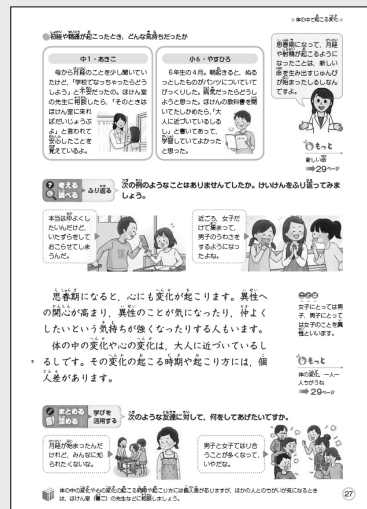


## さまざまな人がいることに気付くことができる

身長伸び、体の中で起こる変化など、発育・発達個人差を大切に扱い、肯定的に受け止めることができますようにしています。また、写真の選定やイラストの作成で、共生の視点を大切にしています。



▲ p.25



▲ p.27

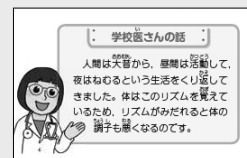


## 健康が多くの人に支えられて成り立っていることに気付くことができる

多くの専門家の登場、調べ学習などを通して、健康が多くの人に支えられて成り立っていることに気付くことができますようにしています。



▲ p.17



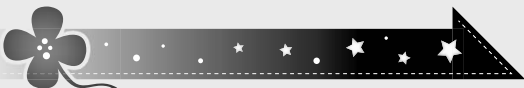
▲ p.9



p.15 ▶

# 2 「健康とどう関係しているか」を考える教科書

保健の見方・考え方を働かせ、身の回りの事象や情報を、健康や安全と結び付けて考える学習活動を基本とする。

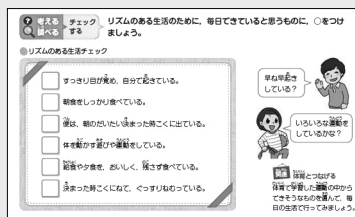


## 日々の生活行動を健康との関連から捉えることができる

日々の生活行動を振り返り、チェックすることなどによって健康との関連で捉え、課題を見つけ、より健康になるための生活のしかたを考えていく学習活動を基本としています。



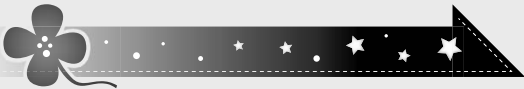
▲ p.6



▲ p.9



▲ p.11



## 他教科の学習や日々の生活も健康と関係付けることができる

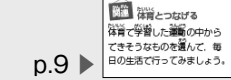
運動領域との関連や他教科との関連を示す「関連」マークで、保健学習以外のことも健康に関係していることに気付くことができます。また、「おうちで」「ちいきで」マークの活動は、学校・家庭・地域の連携を促し、学習習慣の確立にもつながります。



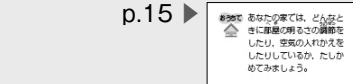
▲ p.5

章のとびらでは、「関連」に加え、学習内容に関連して日々の生活から出る疑問の例を示しています。

◆運動領域との関連の例

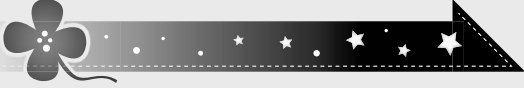


◆「おうちで」「ちいきで」の例



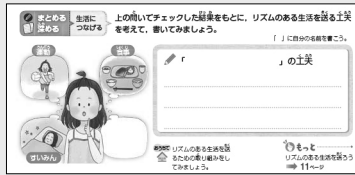
▼ p.31

【例】 家庭では、健康の観点から、日本食やきょうと料理が習得されています。健康の観点から、きょうと料理を探ってみましょう。



## 学習したことを日々の生活に生かしていくことができる

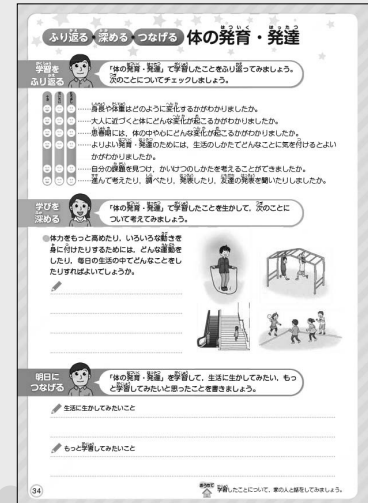
各項目末の「まとめる・深める」や、章末の「ふり返る・深める・つなげる」で、知識の定着と生活への活用を促します。これらの課題は、評価（授業の評価、児童の自己評価）にも活用することができます。



▲ p.9



▲ p.15



▲ p.34

# 3

## 「健康になるためには、どうすればよいか」を考え、実践に結び付ける教科書

健康についての科学的認識と技能の習得、それらの活用による課題の解決に向けた学習活動を基本とする。

### 健康や安全についての知識を科学的に習得することができる

実験や科学的な資料を用いて、健康に関する知識を習得することができます。



▲ p.15



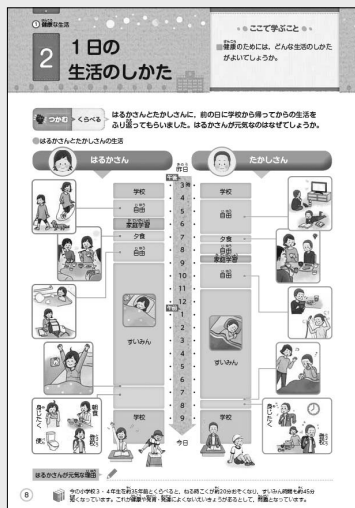
▲ p.12



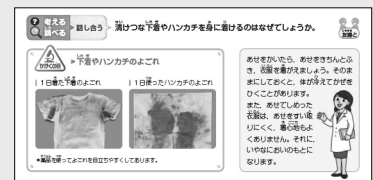
p.23 ▶

### 課題を見つけ、その解決に向けて思考・判断したり、表現したりすることができる

比べる、確かめる、話し合う（表現する）などの活動を、学習内容に応じて適切に設定するなど、主体的・対話的で深い学びによって、思考・判断・表現する能力を養うことができます。



▲ p.8



▲ p.13



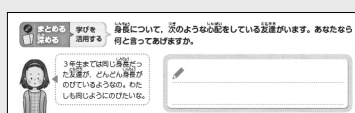
▲ p.14

### 自他の健康課題の把握と課題解決の道筋を実践に結び付けることができる

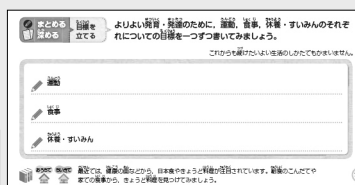
学習したことを活用して目標を立てたり、アドバイスしたりする活動を通じて、自他の健康課題の把握と課題解決の道筋を実践に結び付けられるようにしています。



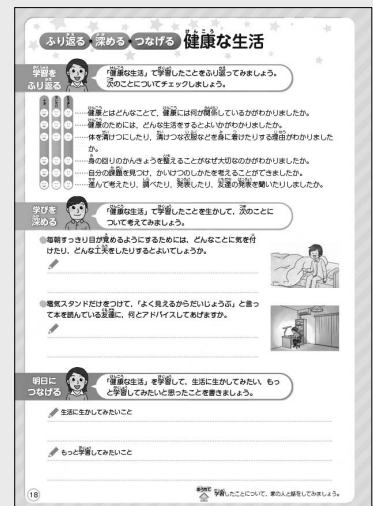
▲ p.13



▲ p.21



p.31 ▶



▲ p.18

## 2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
口絵	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康や安全に関する幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養う学習に取りかかりやすくするために、「健康って、どんなこと？」として児童への投げかけを示しています（第1号）。</li> <li>●主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように、健康のためには、みんなで助け合い、支え合うことが必要であることを示しています（第3号）。</li> <li>●個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるように、一人一人が限らない能力とすてきな自分らしさを持っていることを示しています（第2号）。</li> <li>●健やかな身体を養うことができるように、運動やスポーツに親しむことの大切さを、豊富な写真で示しています（第1号）。</li> </ul>	表紙裏～ p.1
もくじ・保健学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広い知識と教養を身に付けるために、保健学習の進め方や、保健の見方・考え方を働かせることを示しています（第1号）。</li> </ul>	p.2～4
1章 健康な生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健やかな身体を養うことができるように、身近な生活における健康についての課題を随所に設定し、主体的・対話的に学習を進められるようにしています（第1号）。</li> <li>●職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように、随所に学校医などの専門家を登場させるとともに、学校でのさまざまな保健活動を取り上げています（第2号）。</li> </ul>	p.5～18
2章 体の発育・発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすことや、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることができるように、体の発育・発達の学習を通して、かけがえのない自分に気付けるようにするとともに個人差について学習できるようにしています（第2号、第3号）。</li> <li>●伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うことができるように、健康面で注目されている日本食や郷土料理について、家庭や地域で取り組みたい学習活動として取り上げています（第5号）。</li> </ul>	p.19～34
しりょう 安全な生活のために	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように、命を守るために必要な安全や防災についての内容を充実させて取り上げています（第4号）。</li> </ul>	p.35～36
振り返りと5・6年で学ぶこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康や安全に関する幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるように、3・4年の2年間の学習を振り返るとともに、5・6年での学習の展望を持てるようにしています（第1号）。</li> </ul>	p.37

## 3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 大きな判型（A4判）を採用し、詳しく豊富な内容と視覚的にゆったりとした紙面を両立しています。
- 本文の記述に当たっては、できるだけ平易に、理解しやすい表現となるよう努めています。
- 漢字は、無用な交ぜ書きをせず、4年生で学習する漢字までを使用し、当該学年以降に配当されている漢字のすべてにふりがなを付けています。また、読みやすさ、理解しやすさに十分配慮しながら、健康や体に関する用語は漢字を使用するようにしています。
- イラスト、写真の使用に当たっては、本文の記述との適切な関連はもとより、内容・掲載点数ともに学習上の効果に十分配慮しています。
- すべての児童が読みやすいように、フォント、カラー、レイアウトなど、ユニバーサルデザインに配慮して作成しています。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-109	小学校	体育	保健	第3・4学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
224・学研	保健・305	みんなのほけん3・4年		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

### 1 「主体的・対話的で深い学び」を実現する構成

単元ごと、1時間ごとに「主体的・対話的で深い学び」を実現するための構成になっています。

1時間を、「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」と「本文」で構成。

●紙面構成自体が課題解決的な学習の進め方を示し、工夫された学習活動が主体的・対話的で深い学びを導きます。

**つかむ**  
身の回りや普段の生活を手がかりとして、健康課題や今持っている知識に気付くことができます。

**考える・調べる**  
考えたり、調べたり、話し合ったりしながら、課題解決に向かい、課題解決のしかたも身に付けることができます。

**まとめる・深める**  
学習して身に付いた知識や大切なことをまとめ、それらを人に伝えるなどして深め、自分の生活につなげることができます。

**本文**  
正確な記述の本文で、確かな知識を習得することができます。

▲ p.14 ~ 15

●学習の進め方は、教科書の初めで説明しています。

▲ p.3

●各章のとびらでも、学習の進め方、「見方・考え方」を示しています。

p.5 ▶

●特に協働的な学習、知識や学んだことを共有する学習に適した活動には、マークを付けています。



友達と一緒にいる活動には、「友達と」マークを付けています。



教え合い学び合う活動には、知識や考えの「共有」を表すマークを付けています。

# 2 保健の「見方・考え方」を身に付け、働かせられる構成

科学的な資料や健康と的確に結び付いた発問などで、保健の「見方・考え方」を身に付け、働かせられる。

生活を保健の科学の視点で捉える。

## 保健の「見方・考え方」の提示

学習の進め方のページと各章のとびらで、保健の「見方・考え方」を働かせて学習に取り組むことを示しています。

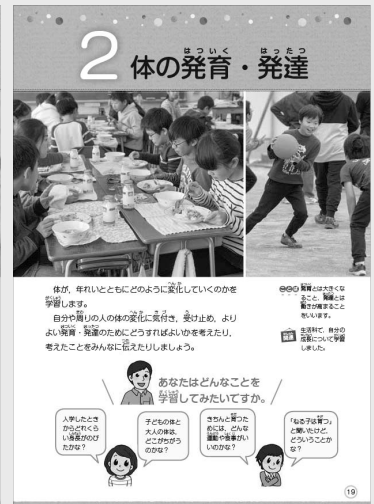


▲ p.3

各章のとびらでは、学習内容の明示とともに、児童が持つ疑問の例を示し、自らの課題を持って学習を始められるように工夫しています。



▲ p.5

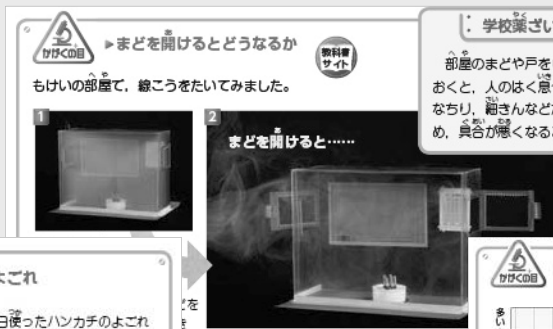


▲ p.19

## 「かがくの目」

興味・関心を高め、科学的な理解に結び付けられるよう、「見えないものが見える化」した資料を掲載しています。

衣類に付いた目に見えない汚れを視覚化した実験結果  
p.13



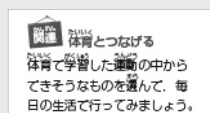
睡眠と成長ホルモンのグラフ  
p.33



▲ p.15  
空気の入れ換え実験の様子

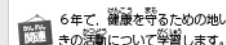
## 「関連」

保健の系統性、教科書内の関連、他教科との関連などを示しています。カリキュラムマネジメントにも役立ちます。



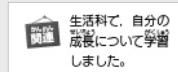
運動領域との関連は、特にわかりやすく示しています。

▲ p.9



保健の系統性を示しています。

▲ p.17

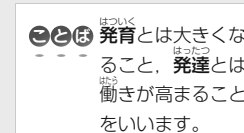


他教科との関連を示しています。

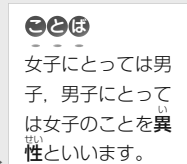
▲ p.19

## 「ことば」

保健の学習で必要となる用語や、知っておいてほしい用語は、「ことば」として解説をしています。



▲ p.19



▲ p.27

生活と結び付ける。深い学びを実現する。



## 実験・体験的な学習活動を重視

実感を伴って理解し、生活との結び付きを感じられるように、実験や体験的な学習活動を重視し、随所に取り入れています。

**つかむ たしかめる** **め** **つ** **か** **め**

ぬれただっしめて手をふいて、よこれが付いているか、たしかめてみましょう。

▲ p.12

**つかむ たしかめる** **め** **つ** **か** **め**

次のようなとき、明るさや物の見え方はどうなるか、たしかめてみましょう。

① 教室の明かりを消して、カーテンをしめたとき  
② 教室の明かりを消して、カーテンを開けたとき

教科書が読めないうわあ

まだが読んだ、まぶしいなあ

p.14 ▶

**もっと知りたい・調べたい** **わ** **た** **し** **の** **こ** **れ** **ま** **で** **と** **こ** **れ** **か** **ら** **20** **ペ** **ー** **ジ**

入学してからの毎週の学びを紙テープに作り、毎週はグラフにしてみましょう。

テープは3本はねましたか？  
テープの長さはある本とも同じですか？  
グラフの長さが同じ長さになりますか？

1年間の毎週の学び

自分で作ったテープがない、かけがえのない「わたしの学び」

※学習するときに、グラフの裏に貼ったテープを固定させましょう。すでに貼付済みのテープには貼れません。

▲ p.22



## 「もっと知りたい・調べたい」

児童の探究心に答え、学習したことを広げたり深めたりできるように、詳しい資料を豊富に掲載しています。

**もっと知りたい・調べたい** **1** **日** **の** **生** **活** **の** **し** **か** **と** **健** **康** **20** **ペ** **ー** **ジ**

1日の生活のしかたは、健康とどのように関係しているでしょうか。

① 睡眠 ② 食事 ③ 運動 ④ 生活リズム

▲ p.10

**もっと知りたい・調べたい** **楽** **し** **く** **運** **動** **を** **探** **け** **よ** **う** **20** **ペ** **ー** **ジ**

習得した学習した運動の、おもしろい運動の中から、毎日の生活でできるものを選びましょう。

① 縄跳び ② 鬼ごっこ ③ かくれんぼ ④ かくれんぼ

**バランスよく食べよう** **20** **ペ** **ー** **ジ**

バランスよく食べるように、5色の野菜の中から、1種類ずつずつ選んでみましょう。

▲ p.32



## 「ふり返る・深める・つなげる」

章末で、習得した知識の確認や学習活動の振り返り、思考・判断や表現する課題、生活へつなげる記述欄などを設けています。自己評価にも役立ちます。

**ふ** **り** **返** **る** **・** **深** **め** **る** **・** **つ** **な** **げ** **る** **健** **康** **な** **生** **活**

学習をふり返る 「健康な生活」で学習したことを振り返ってみましょう。次のことについてチェックしましょう。

① 健康とはどんなことか、健康には何が関係しているのかわかりましたか。  
② 健康のために、どんな生活をするのがいいかわかりましたか。  
③ 健康な生活のために、自分ができることを実践することがわかりましたか。  
④ 身の回りのおもちゃや道具を使うことが安全にできるのかわかりましたか。  
⑤ 目の健康を維持し、かゆみや痛みを減らすことができたか。  
⑥ 目を保護する道具、眼鏡や、保護メガネ、保護フィルムを身につけましたか。

学びを深める 「健康な生活」で学習したことを深めて、次のことについて考えてみましょう。

① 毎朝すすり目が覚めるようにするには、どんなことを気をつけて、どんな工夫をしなくてはいいでしょうか。

② 健康スタンプだけつけて、「よく見えるからいいよ」と言っていて健康に悪い話を、何とアドバイスしてあげます。

明日につなげる 「健康な生活」で学んだことを深めて、生活に生かしてみよう。もっと学習してみたいと思ったことを書きましょう。

空欄に書いてください

もっと学習してみたいこと

p.18 ▶



## 「おうちで」・「ちいきで」

学習したことを家庭や地域などで確かめたり調べたりする活動を示しています。生活そのものを学びの場とするとともに、家の人とのコミュニケーションも促します。

**あ** **う** **ち** **で**

正しい手のあらい方を調べて、家に帰ったときや、食事の前そのあらい方をあらってみましょう。

p.12 ▶

**あ** **う** **ち** **で**

あなたの家では、どんなときに部屋の明るさの調節をしたり、空気入れかえをしたりしているか、たしかめてみましょう。

▲ p.15

p.11 ▶

**リ** **ズ** **ム** **の** **あ** **る** **生** **活** **を** **送** **ろ** **う** **20** **ペ** **ー** **ジ**

自分の生活を振り返りましょう。より健康な生活を送るためにどうすればいいでしょうか。

**ステップ1** 毎日の生活を振り返ってみましょう。

①-④は、できた→、あまりできて→、あまりできていない→、できていない→をそれぞれマークしましょう。

たしかめること	月/日	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① 前日は何時に寝ましたか？		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
② 朝、さっさと目覚めましたか？		X							
③ 朝をしっかりと食べましたか？		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
④ 朝、目が覚めたか？		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑤ 体を動かす遊びや運動をしましたか？		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑥ 1日を元気にすごしましたか？		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

**ステップ2** 毎日の生活を振り返って、次のことを考えてみましょう。

① リズムのある生活を振り返り、目を覚ますのことで思い出したことを書きましょう。

▼ p.31

**あ** **う** **ち** **で** **ち** **い** **き** **で**

最近では、健康の面などから、日本食やきょうと料理が注目されています。給食のこんだてや家での食事から、きょうと料理を見つけてみましょう。



# 3 現代と未来を生きる子供たちの健康課題、学習課題に対応

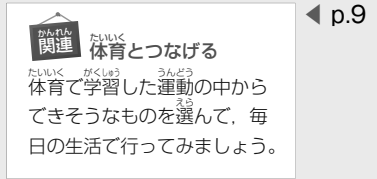
現代的な健康課題、学習課題を充実させています。

## 運動領域とのつながりを重視

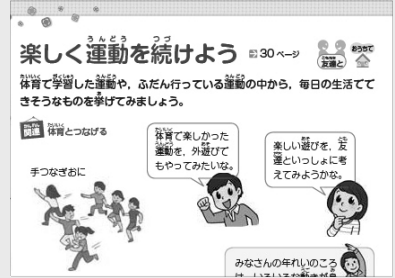
口絵で、「心も体も元気に！／スポーツに親しもう」として、元気に外遊びをしている様子、年齢を超えて共にスポーツを楽しむ様子を示しています。また、オリンピック・パラリンピックで活躍した選手を掲載し、スポーツを「見る」関わり方についても示しています。



▲ p.1



▲ p.9



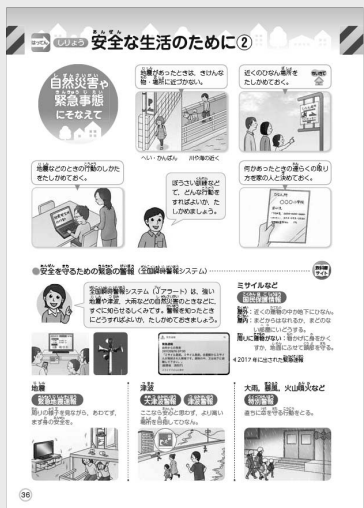
▲ p.32

## 安全に関する内容をさらに充実

巻末資料で、防犯、防災について大切なことを整理して掲載しています。特に、生命に関わる緊急の警報などについて、3・4年生でも知っておいてほしい要点を整理して取り上げています。(発展的な学習内容として取り上げています。)



▲ p.35



▲ p.36

## 心と体の個人差に配慮

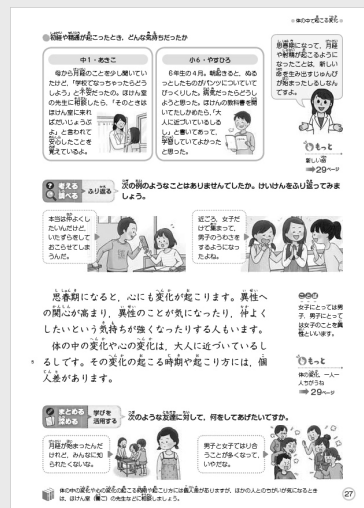
児童が健康課題、学習課題をさまざまな視点で捉えることができるように、教科書全体の記述やイラストなどの内容にも配慮しています。特に「体の発育・発達」では、思春期に起こる心や体の変化について、個人差があることを尊重した記述としています。



▲ p.25



▲ p.29



▲ p.27

## 教科書の特徴一覧

教育基本法との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育基本法第2条に示された目標を達成するために、教科書の内容を適切に編成しています。</li> </ul>
学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【内容】学習指導要領に示されている方針、目標、内容、内容の取扱いに基づき、適切に内容を取り上げています。</li> <li>●【系統性】随所に「関連」を設け、保健について系統的に学習ができるように配慮しています。</li> <li>●【関連】口絵や「体育とつなげる」などにより、運動領域との関連を図っています。また、「関連」により他教科との関連を示しています。</li> <li>●【指導内容の明確化】各章のとびらで、学習内容の全体像を示しています。また、各項目の初めに「ここで学ぶこと」を設け、その時間で学習する課題を明示しています。</li> <li>●【実践的な理解】「つかむ」「考える・調べる」で生活や経験を振り返ったり、実験など実践的な学習を随所に取り入れたりして、健康・安全についての基礎的・基本的な内容を実践的に理解することができるようにしています。</li> <li>●【課題解決】各項目で学習課題を明示し、「つかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」の構成で、保健の見方・考え方を働かせながら、課題解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える（表現）力を養うことができるようにしています。</li> <li>●【主体的な学習、協働】「友達と」マークや共有マークを示し、主体的・対話的かつ協働的に活動する学習活動が生まれやすくなるようにしています。</li> <li>●【食育との関連】3年「1日の生活のしかた」や4年「よりよい発育・発達のために」で、食事の重要性を学習するとともに、それぞれに関連した「もっと知りたい・調べたい」において食育に関連した内容を取り上げています。</li> <li>●【道徳との関連】自分自身に関すること、人との関わりに関することなど、道徳の内容について保健学習全体を通して関連を図ることができるようにしています。</li> <li>●【言語活動】話し合う、表現する、記述するなどの言語活動を随所に設けています。</li> <li>●【家庭・地域との連携】「おうちで」「ちいさく」により、学習したことと家庭・地域との連携に配慮しています。</li> <li>●【選択学習】「もっと知りたい・調べたい」で、児童が興味・関心に沿って選択的に学習できるようにしています。</li> <li>●【キャリア教育】「みんなの健康を守るための活動」調べや専門家（キャラクター）の登場により、キャリアについて考えられるようにしています。</li> </ul>
創意・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各項目の導入に生活を振り返りチェックする活動を設けたり、児童や教師などのキャラクターが語りかける形式を用いたりして、児童が親しみを持って主体的に学習に取り組むことができるようにしています。</li> <li>●構成や活動内容、関連ページなど、わかりやすいマークを用いて、児童が主体的に学習に取り組むことができるようにしています。</li> <li>●「かがくの目」を随所に設け、科学的な認識を持てるようにしています。また、生活・行動の根拠が、単なる“しつけ”ではなく、科学的に認識できるように、論理的な文章と科学的な資料で構成しています。</li> </ul>
現代的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運動、食事、休養・睡眠はもとより、コンピュータの使用など、児童の日常生活と密接に関連した問題や今日的な課題を積極的に取り上げています。</li> <li>●防犯、防災を重視し、資料を巻末に2ページ設けています。</li> </ul>
配列・分量 程度・資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年ともに、学習指導要領で示された担当授業時数内で指導ができるように構成しています。</li> <li>●1単位時間見開き2ページを基本構成とし、見通しを持って学習できるように配慮しています。</li> <li>●児童の心身の発育・発達段階に適応し、身近な問題・自らの問題として取り組むことができるようにしています。</li> <li>●資料は最新で信頼性のある適切なものを取り上げ、見やすく、活用しやすいように工夫しています。</li> </ul>
特別支援教育・ ユニバーサルデザイン への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書体や色、表現・配列について、誰もが見やすく、わかりやすい内容となるように配慮しています。</li> <li>●「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律(通称:教科書バリアフリー法)」の趣旨に基づいて、拡大教科書を発行します。</li> </ul>
表記・表現 印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文などで使用している書体や文字の大きさは、児童の発達段階を考慮して選定しています。</li> <li>●環境に配慮して作成された用紙、植物油インキを使用し、環境への負荷が小さい方式で印刷しています。</li> <li>●製本はあじろ綴じで、特殊加工を施しており、2年間の使用に耐えられるように堅牢に仕上げています。</li> </ul>

## 2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>1 健康な生活</b>	保健 領域 内容 の 取 扱 い (5) (8)	p.5 ~ 18	小計 4 時間
1 かけがえのない健康		(1)ア (ア), イ p. 6 ~ 7	1
2 1日の生活のしかた		(1)ア (イ), イ p. 8 ~ 11	1
3 体の清けつ		(1)ア (イ), イ p.12 ~ 13	1
4 身の回りのかんきょう		(1)ア (ウ), イ p.14 ~ 17	1
<b>2 体の発育・発達</b>		p.19 ~ 34	小計 4 時間
1 変化してきたわたしの体		(2)ア (ア), イ p.20 ~ 23	1
2 大人に近づく体		(2)ア (イ), イ p.24 ~ 25	1
3 体の中で起こる変化		(2)ア (イ), イ p.26 ~ 29	1
4 よりよい発育・発達のために		(2)ア (ウ), イ p.30 ~ 33	1
			3・4年 計8時間

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-109	小学校	体育	保健	第3・4学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
224・学研	保健・305	みんなのほけん3・4年		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
10	「早ね早起きの人」と「おそくねておそく起きる人」の1日の体温のリズム	2	(1) 健康な生活 (1) ア 健康な生活について理解すること。 (イ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。	0.5
16	パソコンなどを使うときには	1	(1) 健康な生活 (1) ア 健康な生活について理解すること。 (ウ) 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。	0.5
23	体が発育するって、どういふこと？	2	(2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (ア) 体は、年齢に伴って変化すること、また、体の発育・発達には、個人差があること。	1.0
29	新しい命	1	(2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (イ) 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。	0.5
33	なぜ、すいみんは大切なの？	1	(2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。	0.5
35	安全な生活のために①	1	(2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。	1.0
36	安全な生活のために②	1	(2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。	1.0
合計				5.0

(「類型」の分類について)

1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容